



2010年度神戸地区のテーマ  
「共同体を育てよう」

## 山岳民族村体験学習記(3)

赤波江 豊神父

3月4日(木) 午前中近くの託児所の子供たちと遊んだ。小学生以上の子供たちは月曜から金曜まで15キロ離れた学校の寄宿舎で生活しているので、村の託児所では午前中それ以下の子供たちを預かっている。子供たちと踊ったり、折り紙を教えたり、実際子供たちと接するのに言葉は不要だ。そもそも言葉はコミュニケーションの一手段に過ぎず、人間は言葉は通じなくても、ありとあらゆる方法で人と接して心を通わせることができる。

子供たちと遊んだ後、2月27日の夜村人たちと「アブラハムの踊り」を踊ったとき、興奮して我流で踊りだした陽気なあのおばさんが、今日は寂しそうにしているのでどうしたのかと思ったら、傍にいた女性が実はこの人は以前乳癌で乳房を切除したのだと教えてくれた。あの陽気さで辛さを乗り越えようとしているのだろう。一緒にお祈りして祝福してあげた。

昨日は聖木曜日の典礼があったので、今日は聖金曜日と復活徹夜祭を同時に行う。午後十字架の道行。村中に第1留から第14留のポイントを作り、そこを村人たちと巡ってお祈りした。祭服を着けた司祭が先頭に歩き、続いて大きな十字架を男性たちが交代で担いだ。今日の気温は日中33度。牛の群れが不思議そうに見ている。いきなり豚が列を横切っていく。かと思ったら、にわとりとひよこの群れが傍を駆け抜けていく・・・「造られた全てのものは神をたたえよ」(詩編の祈り)教会に着いた後は十字架の崇敬で聖金曜日の典礼は終わった。

夕方家に帰ったら、あの若い主人が黒いにわとりを抱えてやって来た。何をするのかと思ったら、いきなりにわとりは首をひねられやがて動かなくなった。主人とおばあさんによってその毛がむしられ、さっきまで元気だったにわとりはやがて解体されて肉の塊となった。その一部始終を見ながら、かくして我々人間は、他の生物の犠牲によって生かされていることを改めて学ばねばならぬことを知ったのであった。同時に、夕食に供されたそのにわとりを感謝のうちにいただいた。

夜は復活徹夜祭の典礼。日本と同じように光の祭儀から始まって、夜の聖堂がローソクの光で輝いた。大人と幼児の洗礼式も行われた。近くの村からも洗礼のために20人以上が集まった。ミサ後青年たちがお祝いに「よさこいソーラン節」を披露した。村人たちはいつまでも歓談したり、子供

たちも遅くまで教会で遊んだりして一足早い復活祭を祝ったのであった。

3月5日(金) 寄宿舎にいた子供たちも帰ってきたので、今日は昼から村人たちと川に遊びに行った。村から車で30分ほど行ったところにあるが、実に大きな川で、今まで山間部でこれほど大きな川を見たことがない。大人も子供も皆本当に嬉しそうに大はしゃぎでボール遊びなどしている。川エビを捕っている人たちもいる。小さな女の子がカエルを捕ってきたというので、どんなカエルかと思って見たら、何ともう皮をはいで調理できる状態にしてある。カエルも単なる野生生物ではなく貴重な村人のタンパク原なのだ。明日はもう村を去る。出会いを惜しむかのように、お互い川で冷えた体を焚き火で温めあう。

夜、ミサのあと村人に記念のロザリオやカードをあげる。続いて村人たちの感謝の言葉があった。気がついたらみんな泣いている。「皆さんが帰ったら私たちはどうやって生きていったらいいのだろうか」という人までいる。日本人も皆涙ぐんでいる。家に帰って床に就こうかと思っていたら、家のおじいさんがやってきて「お前が明日帰ってしまうのかと思ったら寂しくて寝れない」と言う。床の中で8日間のいろんな思い出が去来する。

3月6日(土) 今朝はゆるしの秘跡をミサ前に行うので7時頃教会に行ったら、いつもぎりぎりにミサに来る日本人の青年がもう来てひざを抱えて座っている。少し寂しそう。聞いたらやはり家族との別れが辛いという。ミサ後日本人が一人ずつ挨拶。ある神学生が「この体験学習が終わったら自分は神学生をやめようと思ってました。でもこの村に来て村の人たちや滞在先のご家族の皆さんの人柄や信仰に接してるうちに、もう一度司祭職を目指す決意をしました」と語った。

村を去るときは、村人がほとんど全員見送りに来てくれた。家のおじいさんは「わしはここから見送るよ」というような目で、家の前の階段に座ったまま遠くから日本人一人一人を感慨深げに見つめている。今までいろんな村に行った。しかし毎年どこに行っても、その村が今まで一番よかったという気持ちになる。同じように今年もこの村が今までで一番よかったという気持ちになった。村人たちが目頭を押さえながらいつまでも手を振ってくれる。彼らといつか再会できるだろうか。来年はどここの村に行くのだろうか。神がお望みならきっと彼らと再会させてくださることを信じながら、再び埃だらけの道を車にゆられながら今夜の滞在先のチェンマイに向かう。(終り)

#### 教会維持費について

いつも教会維持費へのご協力有難うございます。教会維持費制度は日本の教会固有の信徒の奉仕です。対象は成人以上で収入のある方です。不況等で困難な方もおられるとは思いますが、教会共同体を支え育てるため可能な限りのご協力をお願いいたします。 神に感謝

赤波江 豊神父

# カトリック住吉教会 6 月度評議会議事録

日 時：2010 年 6 月 20 日(日) 11:00～12:25

場 所：第 2 会議室 (議長不在のため K 副議長が司会進行)

出席者：赤波江神父・松谷園長・評議会メンバー 12 名

はじめの祈り：赤波江神父

慈しみ深い神がこの集いを祝福し、皆が心を一つにして話し合い、み旨にそって私たちが結論を出すことができますように。 主の祈り

## 議題

### 1. 提案事項 赤波江神父から

中央協議会から教皇様の声を反映する公文書等書籍、様々な優良図書を小教区においても推薦し、今後案内したい旨の申出があった。については見本の図書(無料・個人的に入り用な人は申し込みをして購入可能)を置く専用棚(ステンレス製移動キャスター付きで 8,000 円～9,000 円。これを置くことが条件)をホールに設けてはどうかとの提案があり審議の結果、賛同し設置の方向で進めることになった。設置場所は後日。この件の窓口は赤波江神父様です。

### 2. 報告事項

#### (1)「2011 年 6 月 5 日神戸地区大会」第 1 回実行委員会について

実行委員に K、N 2 名を選出、6 月 27 日(日)14 時中央教会第 1 回委員会に両名が出席の予定

#### (2)東ブロック大会について

赤波江神父様から東ブロック大会の出席者へのねぎらいと当日の状況報告があった。

また T 副議長から当日の出席者は住吉 44 名、全体で約 130 名との報告があった。なお反省会が行われることになっているが詳細は決定次第連絡がある。→6 月 27 日(日)17 時に決定。

#### (3)中高生会長崎巡礼資金カンパの依頼について

ミサのお知らせの中で中高生が「8/6(金)～8/9(月)の長崎巡礼資金カンパの依頼」をするとの報告があり、教会の支援としては行程、旅費等見積提示の上で検討することになった。(日程説明 大分までフェリーで一泊。青春 18 切符で長崎まで。長崎ではカトリックセンターに 2 泊。帰路は飛行機利用。参加者は約 17 名予定)

評議員の意見・・・日程的に被昇天祭前の大掃除とか準備と重なっており、教会から経済的な支援を受けるのであればこういう時に中高生が奉仕の姿勢を持って力を発揮するべきであり、その意味では日程を組む時期を考慮すべきである。

### 3. 確認事項

#### (1)中央教会「船員司牧の日」行事について

7 月 10 日(土)Y、A 両氏出席の予定

#### (2)「納涼バーベキュー大会」について

7 月 25 日(日)17:00 住吉教会。準備については、役割分担も含め後日 T 氏から要請がある。会費は、より多くの方の参加が望まれるので 20 歳以下は無料。20 歳以上 1,000 円に決定。かかる費用の超過金は教会から援助。

中央、六甲の招待者は議長からお声かけをして頂く。

当日資金カンパの箱をおいてはどうかの意見もある。

参加人数確認のため無料の方でも予約チケットは発行する。

#### (3)教会学校キャンプについて

7/27(火)～7/28(水)神戸市立六甲自然の家で実施する。費用については参加費と本年度計上予算の中

で賄うとの報告。

(4) 8月8日(日)ミサ司式について

司祭不在のため、集会祭儀で準備することになった。

(5)「病者訪問聖体奉仕者」および「聖体奉仕者」任命式について

赤波江神父から7/4（日）に行うとのこと。

4. 審議事項

◎消防体制確立について（資料配布） 説明（防火管理者）

東灘消防署へ消防計画提出に伴い、構成員を担当司祭、議長、副議長（4名）で組織するとの説明があり、審議の結果、原案通り承認された。

なお、教会内は具体的に下記の通り担当業務を受け持つことにした。

- ・自衛消防隊長：赤波江神父
- ・副隊長（教会内火災予防対策）：議長
- ・通報班（火気管理）：H 副議長
- ・消火班（防災教育）：K 副議長
- ・避難誘導班（消防設備、建築設備の点検）：KT 副議長
- ・安全班（安全対策）：T 副議長

5. その他

(1) プロジェクターについて

本日、Kさんから受け取る。アダプター費用支払い。

(2) 網戸清掃について（資料配布）

一階、二階（高所作業）の網戸清掃を業者に依頼する。見積金額は14,000円。

(3) 戸締りの徹底について

一階第2会議室東の窓が開けっ放しのまま教会が閉館されていることがあったので閉館時の戸締り、水道の閉栓確認、エアコンのスイッチオフの確認を徹底するようお願いしたい。

(4) 7月主日の駐車場（幼稚園園庭）開門について

開門は8:30です。閉門は車を最後に出される方が鍵を施錠する。

7/4 7/11 7/18 7/25

(5) 中高生会への提案について

キリスト教関係のDVDの映写会、CD焼きつけなど中高生が得意とする作業などを常態化することにより巡礼などの費用に充当できるように活動を進めたらどうかとの提案があり要検討事項とした。

(6) 被昇天祭について

今年の被昇天祭は日曜日にあたるので

- ・ミサは朝9:30のみ行われる
- ・ミサの後、祈念堂での祈り
- ・パーティ（担当はA地区）

(7) 松谷園長からの要望

教材や用具置き場について考えていることがあり、園庭側の教会と幼稚園の境界を確認してほしいとのことで、確認することとなった。

(8) 星の園幼稚園行事（7/20～9/2）に伴う住吉教会の施設使用許諾について

(9) 赤波江神父様から8/21（土）六甲教会で「納涼の夕べ」が開かれるとのことのお知らせがあった。

終わりの祈り：あなたのいきを送ってください。すべてがあらたになるように。

恵みあふれる聖マリア・・・・・・・・

以上

## お知らせ

### 1. 7月3日(土) 炊き出し(住吉担当)

現在、社会活動チームを中心に炊き出しを行っています。

これはシナピス神戸が中心となり、神戸地区の各教会(小教区)が参加しています。

住吉評議会では教会全体として各チームが参加し協力していきます。

**信徒の皆様も積極的に参加してください。**

近々、シナピス神戸から、現況の説明や協力要請の話に来られる予定です。

### 2. 7月3日(土) 17:30 中央/住吉 合同役員会(住吉教会)

### 3. 7月4日(日) 主日ミサで「病者訪問聖体奉仕者」及び「聖体奉仕者」任命式を実施予定。

### 4. 7月10日(土) 10:00~16:00 船員司牧セミナー in “神戸” 神戸中央教会

### 5. 7月24日(土) 13:30~15:30 大阪教区/小教区運営説明会 神戸中央教会

### 6. 7月25日(日) 17:00 納涼バーベキュー大会

信徒の皆さん大いに参加しましょう

出来るだけ多くの方に参加してもらうため、**参加費は20歳以上1,000円、**

**20歳以下は無料とします。ご家族づれでご参加下さい。**

六甲、中央の司祭、修道者の皆様にもお声掛けいたします。

楽しい会にしましょう。

尚、準備の都合上、参加人数を把握したいので、参加者へのチケット販売と共に無料の方にも予約チケットを発行します。ご登録下さい。

### 7. 7月27日~28日 教会学校キャンプ 「六甲自然の家」児童多数参加予定

以上